

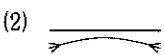
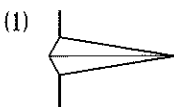
1級（洋服）筆記問題

1. 次の(1)・(2)の材料の地直しについて、最も適するものをアからエまでのの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

- (1) 裏地（キュプラ） (2) ウールジョーゼット

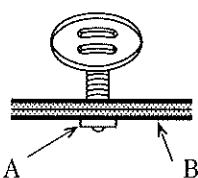
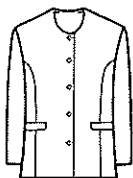
- ア 手で布目を整え、アイロンはかけない
イ 布目を整える程度に低温のアイロンをかける
ウ 布目を整え、折りじわを消す程度に裏側から軽く中温のアイロンをかける
エ 中表に折り、両面に霧を吹いてしばらくおき、裏側から布目にそって中温のアイロンをかける

2. 下図の(1)・(2)は被服作図の表示記号である。その意味として最も適するものをアからオまでのの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。



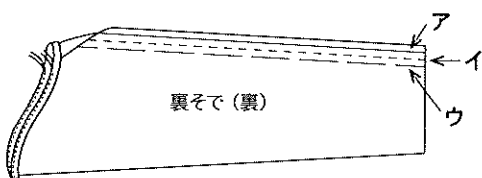
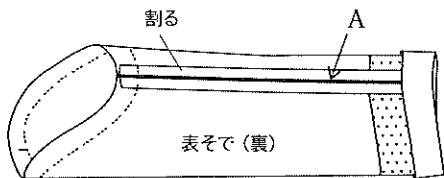
- ア 等分線 イ バイアスの布目 ウ いせる
エ ボタンの位置 オ ダーツ

3. 下図は裏つきジャケットのボタン付けを示したものである。次の(1)・(2)の問いに答えなさい。



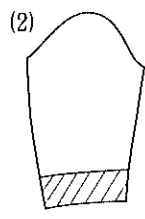
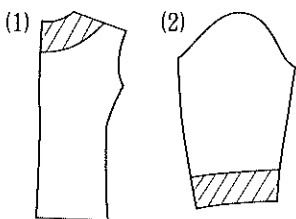
- (1) Aの名称を解答欄に記入しなさい。
(2) Bに最も適するものをアからウまでのの中から一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。
ア 表布（前身ごろ） イ 見返し ウ しん

4. 下図は、一枚そでの表そでと裏そでを示したものである。表そでと裏そでを中とじする時に、表そでのそで下の縫い目Aと合わせる部分として最も適するものをアからウまでのの中から一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。



- ア ミシン縫いの位置から0.1～0.2cm縫いしろ側の位置
イ ミシン縫いの位置
ウ しつけをかけた位置

5. 下図はスーツに貼られたしん（斜線の部分）を示したものである。(1)・(2)のしんの目的について最も適するものをアからエまでのの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

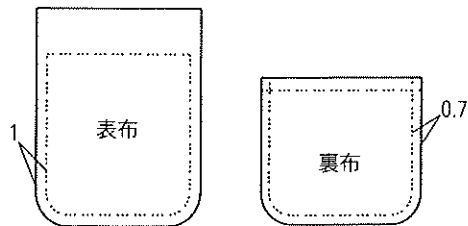


- ア 張りを出し、伸びを防ぎ、形くずれしないように胸から腰にかけてのシルエットに柔らかさをもたせる
イ この部分を美しく形づくるために入れ、多くの場合バイアスに裁つ
ウ そで口に柔らかさを与え、伸びをふせぐ
エ ラベルの折り返りに弾力を持たせ、美しい形を保たせる

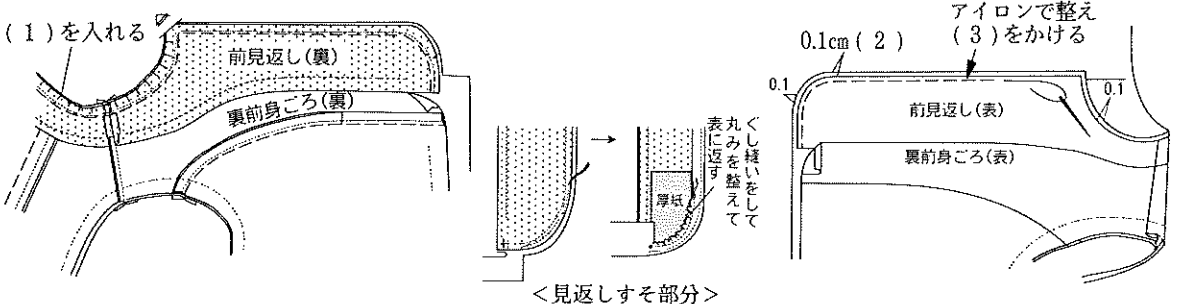
6. 次の文はパッチポケットのつくり方について述べたものである。次の文の(1)から(3)に最も適するものをアからカまでのの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

- ・表布と裏布のポケット口の裁ち端を（ 1 ）に合わせ、返し口を残してミシン縫いをする。
・縫いしろを（ 2 ）側に片返しにしてアイロンをかける。
・ポケットのまわりの表布と裏布の裁ち端をそろえてまち針を打つ。表布のしるしどおりにしつけをかけ、ミシンはしつけの0.2cm（ 3 ）にかける。

- ア 内側 イ 外側 ウ 裏布 エ 表布
オ 中表 カ 外表



7. 下図のような裏つきジャケットの表身ごろと見返しの縫い合わせについて、次の(1)から(3)に最も適する語句を解答欄に記入しなさい。



8. 次の文は裏つきジャケットの仕立て方について述べたものである。(1)から(3)に最も適するものをアからエまでのの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

すそのしまつをする場合、表布は身ごろのすそをしるしどおりに折り返して（ 1 ）をし、裏布は表すそのできあがり線から2cm控えて折り、その折り山から1cm内側を（ 2 ）にする。裏布の背縫いは（ 3 ）がかかるようにしるしより1cm外側をミシン縫いする。

- ア 奥まつり イ 星どめ ウ 千鳥がけ又は返し縫い エ きせ

9. 被服の配色において、全体のまとめ方として、(1)・(2)の方法がある。具体的にどのようにするのか、アからエまでのの中から最も適するものを、それぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

- (1) グラデーション (2) ドミナント
ア 部分的に変化を与え全体をまとめる方法
イ 多色配色で段階的に色を変化させ調和と対比の中間的配色に導く方法
ウ 繰り返しの方法で色を配置し、均一性の変化によるリズム感を生かす
エ 多色配色の場合全体をまとめる方法として、主体となる色に全体の支配力を与える

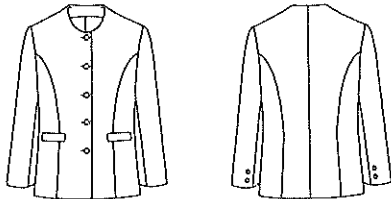
1級洋服 (第62回)	問題	1		2		3		4	5		6			7			8			9	
		(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)		(1)	(2)	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)
	解答																				
得点																					
	学校名						学年		組		番号		名前						合計		

1 級（洋服）筆 記 問 題

1. フラノ（毛100％）のジャケットを製作する場合、ミシン針・ミシン糸・ボタンつけ糸の組み合わせで最も適するものを、アからオまでの中から一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

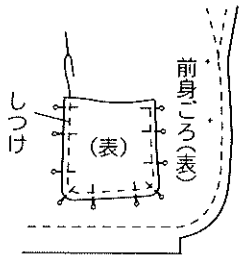
	ア	イ	ウ	エ	オ
ミシン針	ニット用・11番	11番・14番	11番・14番	9番・11番	7番・9番
ミシン糸	ナイロン糸50番	絹ミシン糸50番 ポリエステル糸60番	カタン糸50番 ポリエステル糸60番	カタン糸60番 ポリエステル糸60・90番	カタン糸80番 ポリエステル糸90番
ボタンつけ糸	ミシン糸と同じ	絹の穴糸 ポリエステル手縫い糸	カタン糸30・40番 ポリエステル糸30番	カタン糸60番 ポリエステル糸60番	カタン糸80番 ポリエステル糸90番

2. 下図の総裏ジャケットを製作する場合、見返しを必要とする部分をアからカの中から二つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。



- ア そで口 イ 前端
ウ えりぐり エ 背中心
オ すそ カ アームホール

3. 下図はジャケットのパッチポケットのつけ方を示したものである。機能的で美しいポケットつけをするにはどのような点に留意すればよいか、アからエまでの中から二つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。



- ア ポケット口をややうかせぎみにする
イ ポケットの布目はわき線に合わせる
ウ ポケットの布目は前中心線の布目に合わせる
エ ポケット口は身ごろにぴったり合わせる

4. 下図はボタンホールを示したものである。(1)・(2)の名称をアからウまでの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。



- ア 玉縁
イ はとめ穴かがり
ウ 片どめボタンホール

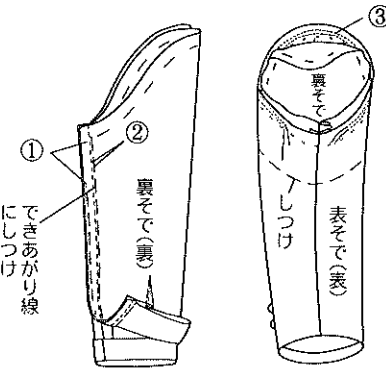
5. 次の文は裏つきジャケットのわき縫いについて述べたものである。(1)から(3)に最も適する語句をアからオまでの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

- 表身ごろのわき線と裏身ごろのわき線がずれていないかを確認する。
- 表身ごろのわきをしるしどおりにミシン縫いし、縫いしろをアイロンで（ 1 ）。
- 裏身ごろのわきをしるしどおりにしつけをし、しるしの0.2～0.3cm（ 2 ）側をミシンで縫う。
- 裏身ごろのわきの縫いしろを（ 3 ）側に倒してアイロンをかける。

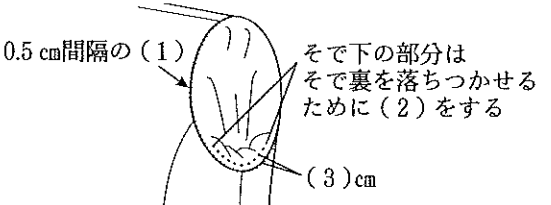
- ア いせこむ イ 割る ウ 2本 エ 後ろ身ごろ（後ろ） オ 外（縫いしろ）

6. 右図は裏つきの一枚そでの縫い方を示したものである。次の(1)・(2)の問いに答えなさい。

- (1) ①・②に最も適する寸法をアからウまでの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。
ア 2～3 cm イ 7～8 cm ウ 0.2～0.3cm
- (2) ③部分に最も適する縫い方の名称を解答欄に記入しなさい。

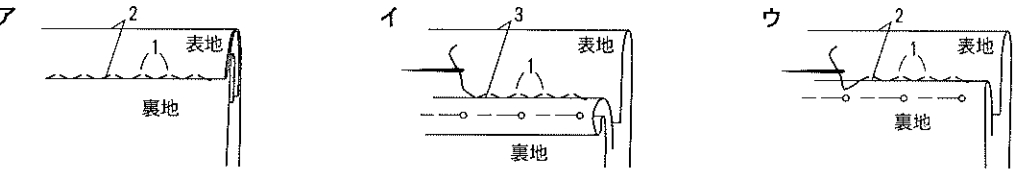


7. 下図はジャケットの裏そでつけについて示したものである。(1)・(2)には最も適する縫い方の名称を、(3)には最も適する寸法をアからウまでの中から一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。



- ア 0.5
イ 1.5
ウ 0.1

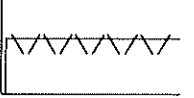
8. 下図はジャケットのすそのしまつについて示したものである。奥まつりの方法として最も適切なものをアからウまでの中から一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。



9. 次の文はデザイン上の配慮について述べたものである。正しいものをアからオまでの中から二つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

- ア 細い横じまは、幅を狭く見せる
イ 暖色は膨張して見える色が少ない
ウ 原色どうしの配色は調和しやすく、やさしい感じになる
エ 縦じまは、背を高く見せる場合が多いが、しま幅によって異なる
オ 色どうしが調和しないときは、その境界線に無彩色を入れるとよい

10. 下図の縫いしろのしまつの名称を解答欄に記入しなさい。



1 級 洋 服 (第61回)	問 題	1	2	3	4		5			6		7			8	9	10
					(1)	(2)	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(1)	(2)	(3)			
	解 答																
得 点																	
	学校名				学年		組		番号	名前			合計				

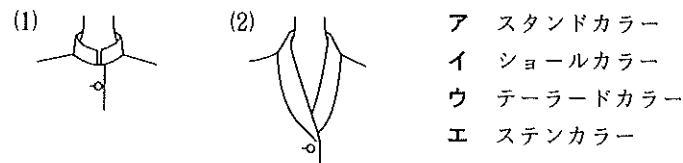
1級（洋服）筆記問題

1. 次の文の(1)から(3)に最も適する語句をアからオまでのの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

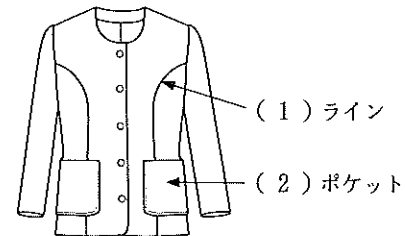
正しい下着の着用は（ 1 ）を整えるために大切である。一般に下着はアンダーウェアとファンデーションと（ 2 ）に分けられる。アンダーウェアに必要な性能は吸湿性であり、繊維として（ 3 ）が最適である。

ア ナイロン イ 綿 ウ 服装 エ ランジェリー オ ガードル

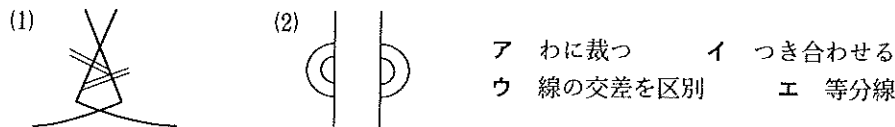
2. 下図のえりの名称に最も適するものをアからエまでのの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。



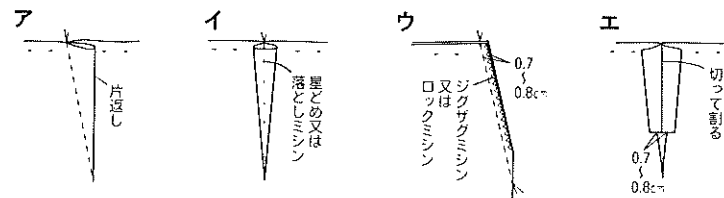
3. 右図ジャケットの(1)・(2)に最も適する語句を解答欄に記入しなさい。



4. 下図の作図記号について、その意味として最も適するものをアからエまでのの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

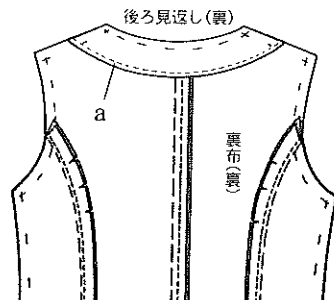


5. 厚地でほつれにくい布に適したダーツのしまつの方法をアからエまでのの中から一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

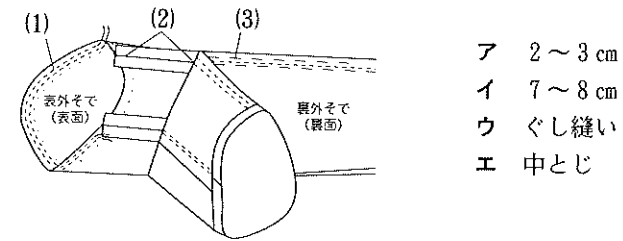


6. 下図はジャケットの後ろ裏身ごろの縫い方を示したものである。aの部分について、次の文の（ ）に適する語句を解答欄に記入しなさい。

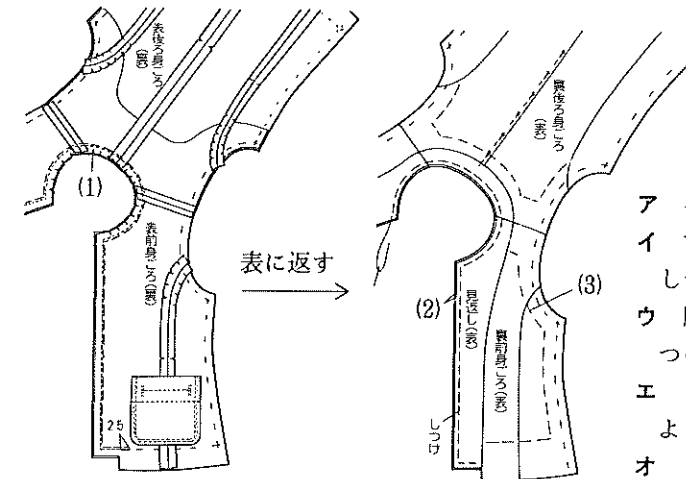
後ろ見返しと裏布をはぎ合わせたあと、（ ）の縫いしろのみに切り込みを入れる。



7. 下図は裏つきのそでのつくり方を示したものである。(1)から(3)に最も適するものをアからエまでのの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。また、(4)にこのそでの名称を記入しなさい。

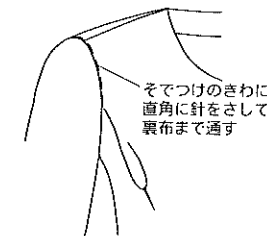


8. ジャケットの表身ごろと見返しの縫い合わせについて、下図の(1)から(3)に最も適するものをアからカまでのの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

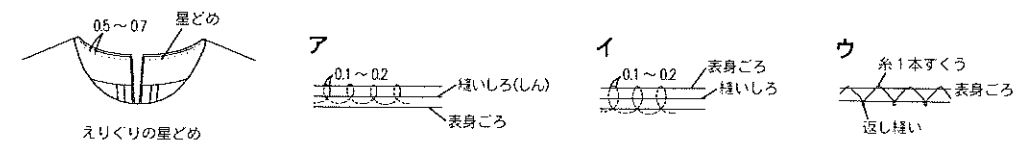


ア 平らにしておさえじつけをする
イ できあがり線にしつけをかけて、しつけどおりにミシンをかける
ウ 胸の丸みを逃がさないようにしつけをかける
エ 1 cm弱に切り落とし、つれないように切り込みを入れる
オ 1～1.5 cmに切りそろえて割る
カ 見返しを0.1 cmひかえてアイロンで整える

9. 右図のしつけの名称を答えなさい。



10. えりぐりの星どめの方法として最も適切なものをアからウまでのの中から一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。



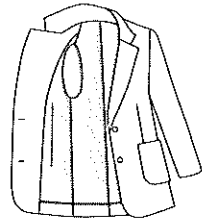
問題	1			2		3		4		5	6	7				8			9	10
	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)			(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	(3)		
1級洋服(第60回)																				
解答																				
得点																				
学校名					学年		組		番号		名前					合計				

1級（洋服）筆記問題

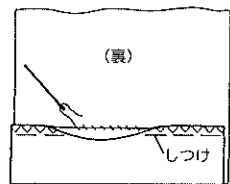
1. 洋服の礼装について、男性と女性の「夜の正装」に最も適するものをアからエまでのの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

ア イブニングドレス イ アフタヌーンドレス ウ 燕尾服 エ モーニングコート

2. 下図はジャケットの裏布仕様の種類である。名称を解答欄に記入しなさい。

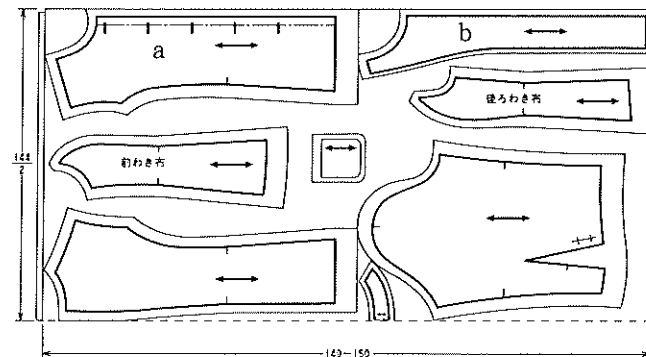


3. 下図は折りしろのしまつの方法を示したものである。名称と、その用途について最も適するものをアからウまでのの中から一つ選んで、解答欄に記入しなさい。

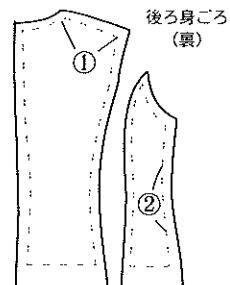


ア ほつれやすい毛織物や裏付きの表そで口、すそのしまつなどに用いる
イ そで口・すそなどをじょうぶにすると、表にミシン目が見えてもさしつかえないときに用いる
ウ ワンピースのすそなどに用いる。縁かがりミシンのきわをまつ。表にひびきにくい

4. 右図はジャケットの表布の裁断を示したものである。a・bの名称を答えなさい。



5. 下図はジャケットの表布のくせとり部分を示したものである。①・②の部分についてア・イの方法からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。



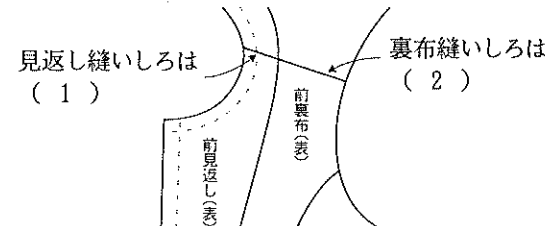
ア いせこむ
イ 伸ばす

6. パッチポケットのつけ方について、次の文の①・②に最も適するものを、アからオまでのの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

ポケット口をやや（ ① ）ぎみにしてしつけをかける。力布は表布に接着しを貼り、直径2cmに切る。ポケット口の両角の位置に力布をしつけでとめておき、（ ② ）側よりミシンをかける。

ア 裏 イ 前中心 ウ 伸ばし エ わき オ 浮かせ

7. 下図はジャケットの裏身ごろの肩あわせについて示したものである。図中(1)・(2)に最も適するものをアからウまでのの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

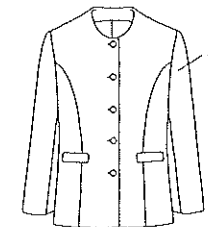


ア 後ろ身ごろへ片返しする
イ 前身ごろへ片返しする
ウ 割る

8. 次はジャケットの裏布の縫い方について述べたものである。(1)から(3)について最も適するものをアからウまでのの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

(1) わきの縫い方 (2) わきの縫いしろ (3) 背縫いの方法
ア しるしより0.3cm外側を縫う ア 縫いしろは割る ア しるしより1.0cm外側を縫う
イ しるしより0.3cm内側を縫う イ 縫いしろは片返しにする イ しるしより0.3cm内側を縫う
ウ しるしどおりに縫う ウ ア、イのうちどちらでもよい ウ しるしどおりに縫う

9. 右図は二枚そでの構成を示したものである。aの名称を答えなさい。



10. 下図のようなデザインのジャケットを縫う場合、どのような順序で縫えばよいか。(1)から(3)に最も適するものをアからカまでのの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

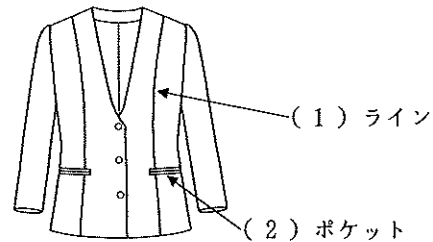


前後の身ごろづくり→（ 1 ）合わせ→見返しと裏布のはぎ合わせ→
表身ごろと見返しの縫い合わせ→（ 2 ）縫い→（ 3 ）のしまつ→
そでづくり・そでつけ→仕上げ
ア えり イ わき ウ 肩 エ 身ごろ オ そで
カ すそ

1級洋服(第59回)	問 題	1		2	3		4		5		6		7		8			9	10		
		男性	女性		名称	用途	a	b	①	②	①	②	(1)	(2)	(1)	(2)	(3)		(1)	(2)	(3)
	解 答			仕立て																	
得 点																					
学校名					学年			組			番号			名前				合計			

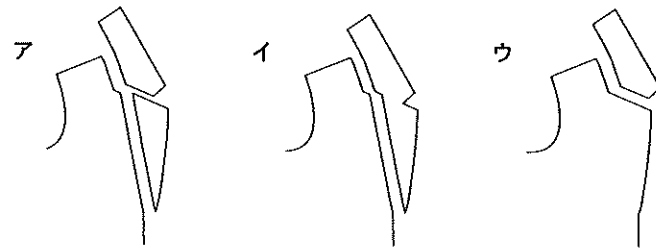
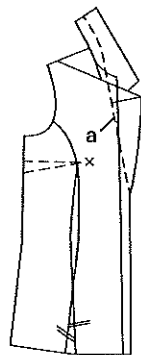
1級（洋服）筆記問題

1. 下図のジャケットの(1)・(2)に最も適する語句を解答欄に記入しなさい。



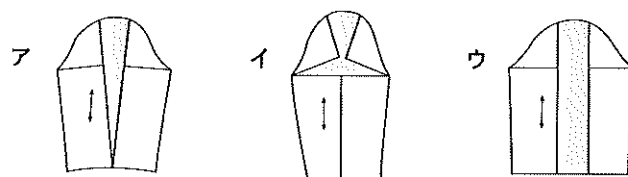
2. 下図はジャケットのえりの製図を示したものである。次の(1)・(2)の問いに答えなさい。

- (1) えりの名称を解答欄に記入しなさい。
 (2) できあがりの型紙として、最も適するものをアからウまでのの中から一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

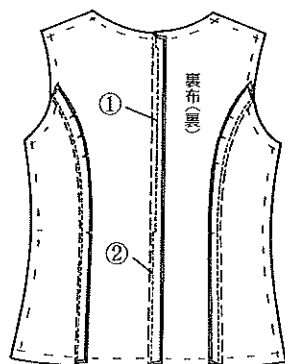


(3) aの線の名称を解答欄に記入しなさい。

3. 下図はレグオブマトンスリーブである。型紙の活用について、最も適するものをアからウまでのの中から一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

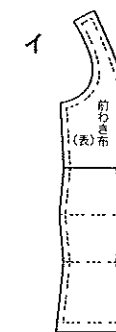
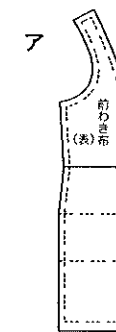
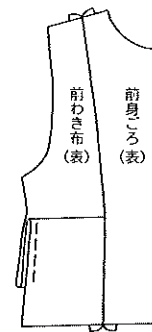


4. ジャケットの裏身ごろの縫い方について、次の各問いに答えなさい。



- (1) 左図の①・②に最も適するものをアからウまでのの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。
 ア しるしどおりにしつけをして、しるしより0.3cm縫いしろ側をミシン縫いする
 イ しるしどおりにしつけをして、しるしより1cm縫いしろ側をミシン縫いする
 ウ しるしの0.3cm内側にしつけをして、しるしどおりミシン縫いする
 (2) ①の縫い方をするのはなぜか。その理由として最も適するものをアからウまでのの中から一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。
 ア ミシンの縫い目を見えないようにするため
 イ 汗の吸収をよくするため
 ウ 腕を前に伸ばしたときなど、動作のゆとり分

5. 下図のようなポケットを作る場合、正しく裁断したものをアからウまでのの中から一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。



6. 次は裏つきジャケットの仕立て方について述べたものである。適するものをアからエまでのの中から二つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

- ア そで山のいせこみは、あらかじめアイロンで落ちつかせておく
 イ 前身ごろの見返しと裏布を縫い合わせる場合、縫い残しのないように全部縫う
 ウ 表そでのそで口に接着しを貼る
 エ 二枚そでの裏そでのそで下縫いしろは、内そでに折る

7. 次の文は裏つきジャケットの仕立て方について述べたものである。(1)から(4)に最も適するものをアからカまでのの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

- ・表身ごろのすそは、できあがりどおりに折り、(1)にする。
 ・裏身ごろのすそは表身ごろより(2)cm控えて折り、折り山から約(3)cm内側を(4)にする。
 ア 奥まつり イ 千鳥がけ又は返し縫い ウ 2 エ 1 オ 0.5 カ 0.3

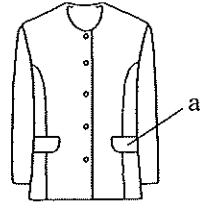
8. 次の文は色相環について述べたものである。(1)から(4)に最も適するものを、アからキまでのの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

- 色相環で互に向かい合う色を(1)といい、個性的で(2)感じの色合いとなる。また、隣り合う色を(3)という。(3)は色相の差が少ないので、(4)しやすい。
 ア 補色 イ 類似色 ウ 同色 エ 弱い オ 強い カ 対比 キ 調和

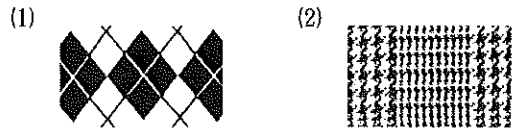
1級洋服(第58回)	問題	1		2			3	4			5	6	7				8			
		(1)	(2)	(1)	(2)	(3)		(1)	(2)	(3)			(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	(3)	(4)
		①	②					①	②											
解答																				
得点																				
学校名		高校		学年				組			番号		名前					合計		

1 級 (洋服) 筆 記 問 題

1. 下図の a のポケット名を解答欄に記入しなさい。



2. 下図の(1)・(2)は洋服の柄の種類を示したものである。それぞれの名称をアからオまでの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。



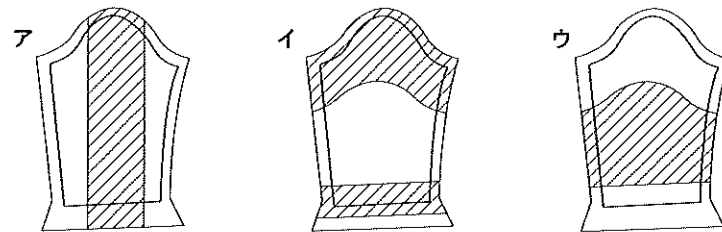
- ア ペイズリー イ 千鳥格子
ウ アーガイル エ グレンチェック
オ タータンチェック

3. 次の文はジャケットの裏布のきせについて述べたものである。(1)から(3)に最も適する語句をアからカまでの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

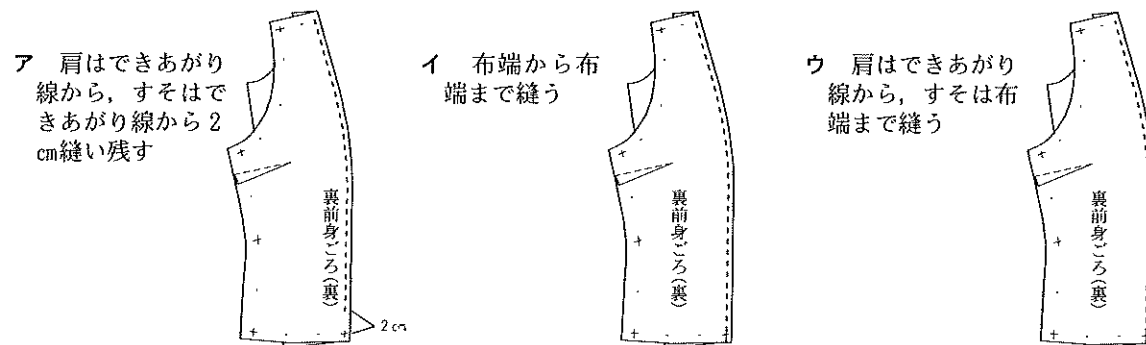
裏布は表布に比べてほとんど（ １ ）ない。表布は布自体が水分（湿気，汗，雨など）によって（ ２ ）し，寸法が変化する。特にウール地は（ ３ ）による寸法変化が大きい。そのため，裏布には必ずゆとり分を入れて縫製する必要がある。

- ア 伸縮 イ 縮ま ウ 不足 エ 伸び オ 空気 カ 水分

4. 下図はスーツのそでに貼られたしん(斜線の部分)を示したものである。最も適するものをアからウまでの中から一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。



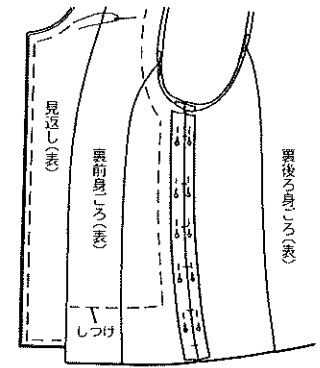
5. 下図はえりなしジャケットの前見返しつけのミシン縫いを示したものである。正しい縫い方をアからウまでの中から一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。



6. 次の文はジャケット裏身ごろのわき縫いの前に行う作業について述べたものである。(1)から(3)に最も適するものをアからオまでの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

裏身ごろの縫いしろを右図のように表身ごろのわき（ 1 ）に合わせ、（ 2 ）にしてまち針をうつ。ここを軽くアイロンで押さえたあと、合いじるしをつけておく。このしるしで裏地を（ 3 ）に合わせ、わき縫いをするといい。

- ア 中表 イ 裏身ごろ ウ つき合わせ
エ 表身ごろ オ 縫い目



7. 次の文は裏つきジャケットの見返しと裏布のはぎ合わせについて述べたものである。(1)・(2)の下線部分が正しければ○を、誤りがあれば、最も適するものをアからエまでのの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

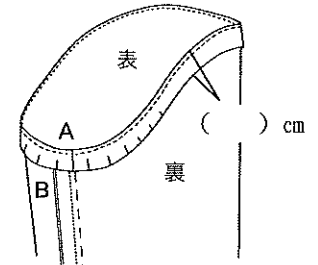
- (1) 裏布の背中心を縫う時、バストラインより上は、しるしより 1 cm縫いしろ側を縫い、きせをかけて裏布にゆとりをもたせる。
- (2) 後ろ見返しと裏布の後ろ身ごろをはぎ合わせ、裏布の縫いしろに切り込みを入れる。
- ア ウエストライン イ ヒップライン ウ ギャザー エ しつけ

8. 裏そで作りについて、以下の問いに答えなさい。

- (1) 右図の()に最も適する数字をアからウまでの中から一つ選んで解答欄に記入しなさい。

- ア 0.3 イ 0.7 ウ 1.5

- (2) ぐし縫いの縫いはじめと縫い終わりの糸は、A・Bのどちら側に出せばよいか、その記号を解答欄に記入しなさい。



9. 次の文は裏つきそでのつけ方について述べたものである。(1)から(3)に適する語句を解答欄に記入しなさい。

- ・表そでので山にはぐし縫いをし、(1)を入れて、そでつけをする。縫いしろは(2)側へ倒し、身ごろのそでつけ縫いしろの表布と裏布をとじる。
- ・裏そでつけのしまつは(3)で、間隔は0.5cm程度とする。

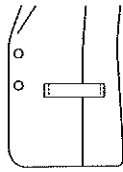
10. 次の(1)・(2)のファッションイメージ用語について、最も適する説明をアからエまでの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

- (1) エレガンス (2) アヴァンギャルド
- | | |
|--------------------------|------------------|
| ア 格調があり、優しく穏やかで洗練されたイメージ | イ 民族的でたくましいイメージ |
| ウ 斬新で奇抜なイメージ | エ 格調があり、男性的なイメージ |

1級洋服(第57回)	問 題	1	2		3			4	5	6			7		8		9			10	
			(1)	(2)	(1)	(2)	(3)			(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)
	解 答	ポケット																			
	得 点																				
	学校名	高校			学年		組		番号			名前					合計				

1級（洋服）筆記問題

1. 右図のポケットの名称について、最も適するものをアからエまでの中から一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

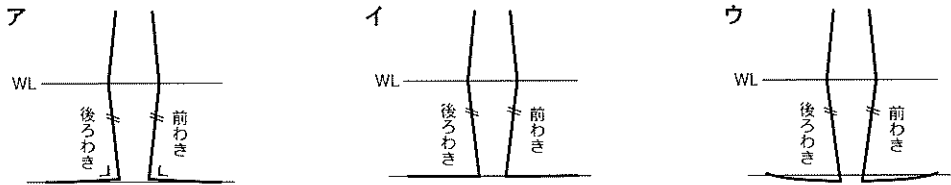


- ア パッチポケット
- イ 玉縁ポケット
- ウ フラップポケット
- エ 箱ポケット

2. 次の文は裏つきジャケットを製作する場合の布の選び方について述べたものである。(1)から(3)に最も適するものをアからキまでの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。
表布に毛織物を使うときは、フラノやツイードや（ 1 ）などがじょうぶであたたかい。
裏布を選ぶときは表布と直接重ね合わせ（ 2 ）や色を確かめるようにする。色は表布と（ 3 ）の無地が上品であるが、裏を特に強調したい場合は、格子や花、水玉などの柄を使っても効果的である。

- ア 光沢
- イ 厚み
- ウ 同色系
- エ 反対色
- オ デニム
- カ サージ
- キ ブロード

3. ジャケットのすそ線をなだらかにするためには、どのような作図を行うとよいか。最も適するものをアからウまでの中から一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

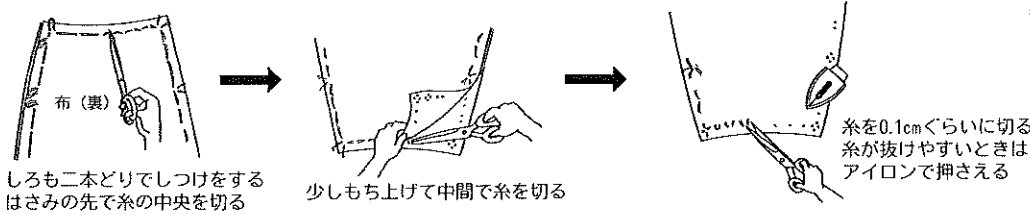


4. 右図のスーツの表布（144cm幅の場合）の見積もりについて、最も適するものをアからウまでの中から一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

- ア ジャケットたけ＋そでたけ＋スカートたけ＋総縫いしろ
- イ ジャケットたけ×2＋そでたけ＋スカートたけ×2＋総縫いしろ
- ウ ジャケットたけ＋そでたけ＋スカートたけ×2＋総縫いしろ



5. 下図は印つけの方法を示したものである。この印つけの名称を解答欄に記入しなさい。

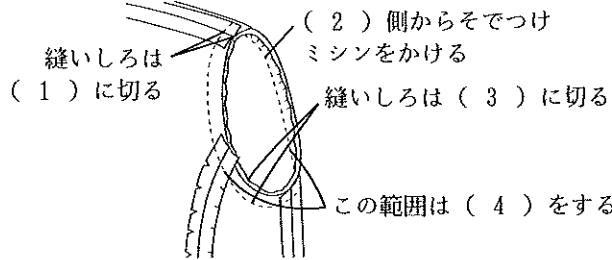


6. 下図はジャケットの仮縫いの試着の状態を示したものである。そで山にしわが生じた原因をA群のアからウまでの中から、補正のしかたをB群のアからウまでの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。



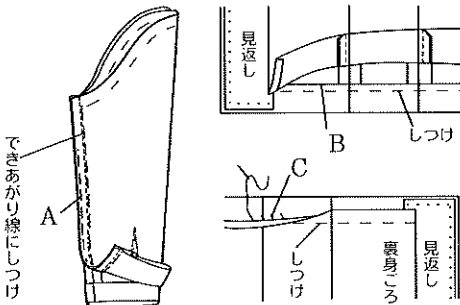
- A群 ア そで幅がせまい
- イ そで山の高さが不足している
- ウ AHが不足している
- B群 ア そで山を高くする
- イ そで山を低くする
- ウ そで幅をひろげ、AHを増やす

7. 下図はジャケットのそでつけについて示したものである。図中の(1)から(4)に最も適するものをアからクまでの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。



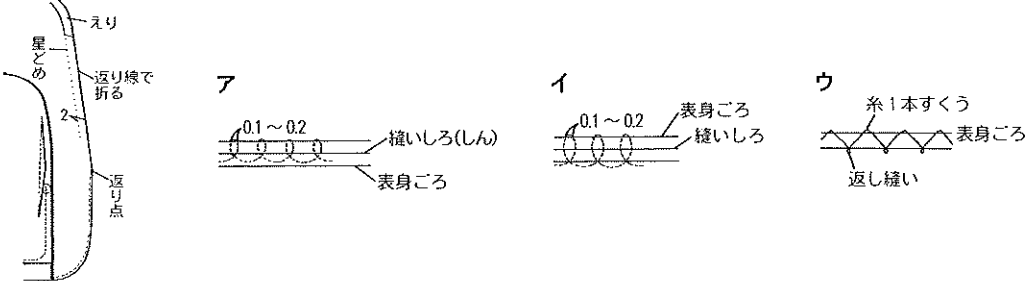
- ア 2.5cm
- イ 1.5cm
- ウ 1cm
- エ 0.3cm～0.5cm
- オ そで
- カ 身ごろ
- キ 星どめ
- ク 重ね縫い

8. 下図は裏つきジャケットの一枚そでとすその縫い方を示したものである。次の(1)から(3)の問いに答えなさい。



- (1) Aのように、表布と裏布の縫いしろを縫い合わせる方法の名称を解答欄に記入しなさい。
- (2) B部分（表布のすそ縫いしろ）に最も適する縫い方の名称を解答欄に記入しなさい。
- (3) Cのように裏布のすそをしまつする縫い方の名称を解答欄に記入しなさい。

9. 下図はラベル返し線奥の星どめをする箇所を示したものである。この箇所に用いる方法として最も適切なものをアからウまでの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。



10. 次の文は配色について述べたものである。(1)から(3)に最も適する語句をアからエまでの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

色にはそれぞれ異なった性格や感情がある。一般に（ 1 ）色系の色は明るいので活動的な感じを、（ 2 ）色系の色は静かな感じを持つ。また、同一色や類似色は調和しやすいが（ 3 ）になりやすいので、明度・彩度の差をつけて変化を与える。

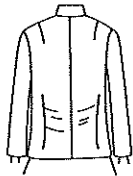
- ア 単調
- イ 派手
- ウ 寒
- エ 暖

1級洋服 (第56回)	問題	1	2			3	4	5	6		7				8			9	10		
			(1)	(2)	(3)				A群	B群	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	(3)		(1)	(2)	(3)
	解答																				
得点																					
学校名			高校		学年		組		番号		名前				合計						

文部科学省後援
第55回 全国高等学校家庭科被服製作技術検定（令和4年度）
1級（洋服）筆記問題

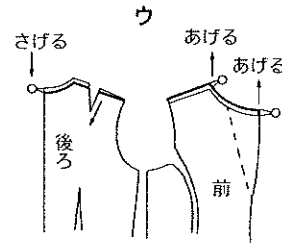
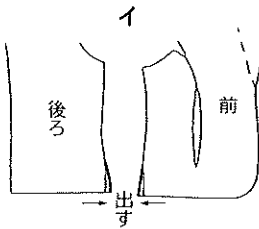
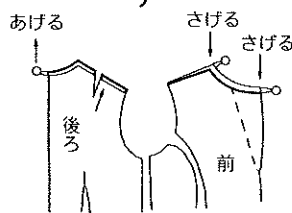
1. 裏地として適する条件をアからカまでの中から三つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。
ア 重い イ 軽く表地とよくなじむ ウ すべりがよい エ 摩擦に強い
オ かさばる カ 光沢がある
2. 次のアからオは毛並みのある布地である。毛並みが上向きになるように裁断した方が良いと思われるものを三つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。
ア 別珍 イ シャギー ウ モヘア エ ベルベット オ コーデュロイ
3. 次の(1)から(3)のポケットについて、最も適するものをアからウまでの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。
(1) 身ごろに切り込みを入れて作ったポケット ア シームポケット
(2) 縫い目を利用して作ったポケット イ スラッシュポケット
(3) 身ごろの外側にはりつけたポケット ウ パッチポケット
4. スーツの仮縫いの試着で下図のようなしわが生じた。その原因をA群のアからエまでの中から、補正方法をB群のアからウまでの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

後ろ胴部にたるみじわが
あり前すそが重なる



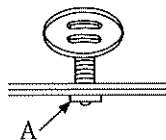
- A群 ア 臀部が出ている イ 上半身が反身体である
 ウ 上半身が屈身体である エ さ骨が出ている

B群



5. 次の文は裏つきジャケットのわき縫いについて述べたものである。(1)から(3)に適する語句を解答欄に記入しなさい。
- ・表身ごろのわき線と裏身ごろのわき線がずれていないかを確認する。
 - ・表身ごろのわきをしるしどおりにミシン縫いし、縫いしろをアイロンで（ 1 ）。
 - ・裏身ごろのわきをしるしどおりにしつけをし、しるしの0.2～0.3cm（ 2 ）側をミシン縫いする。
 - ・裏身ごろのわきの縫いしろを（ 3 ）側に倒してアイロンをかける。

6. 右図は裏つきジャケットのボタンつけを示したものである。Aの名称を解答欄に記入しなさい。

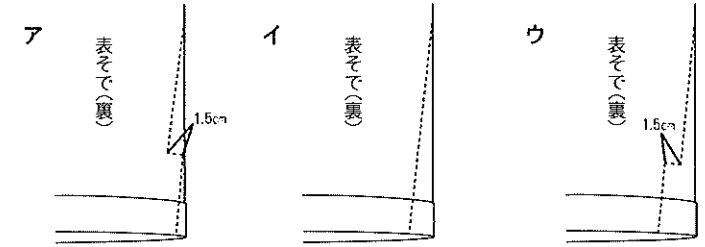


7. 次はダーツを利用したそでのあきみせの作り方を示したものである。(1)・(2)について最も適するものをアからウまでの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

(1) 表そでのダーツの倒し方

- ア 縫いしろを割る イ 前そで側（そで山中心線側）に倒す ウ 後ろそで側（そで下側）に倒す

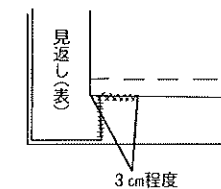
(2) 表そでのダーツの縫い方



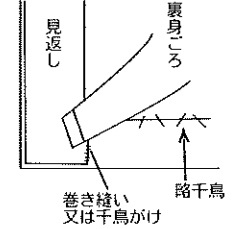
8. 右図は裏つきジャケットのすそのしまつを示したものである。すそのしまつの順序で最も適切なものをアからエまでの中から一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

- ア ②→④→③→①
イ ②→③→④→①
ウ ④→③→②→①
エ ③→④→①→②

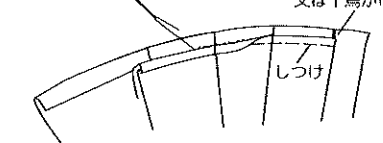
① 裏布の左右をとめる



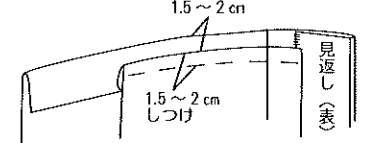
② 表すその縫いしろをとめる



③ 裏すそをしまつする



④ 裏すそにしつけをかける



9. 有彩色と無彩色の配色の例をA群のアからウまでの中から、その配色の説明で最も適するものをB群のエからカまでの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

- A群 ア 黒と灰色
 イ 赤とだいたい赤
 ウ 黄と黒
- B群 エ はなやかなうちに落ちつきがある
 オ 原色でも調和しやすくやさしい感じになる
 カ 無難な配色であるが明度や彩度で変化をつけるとよい

1級洋服 (第55回)	問 題	1			2			3			4		5			6	7		8	9	
								(1)	(2)	(3)	A群	B群	(1)	(2)	(3)		(1)	(2)		A群	B群
	解 答																				
得 点																					
学校名		高校			学年			組			番号			名前			合計				

1級（洋服）筆記問題

1. 次の(1)・(2)の材料の地直しについて、最も適するものをアからエまでのの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

(1) ウールジョーゼット (2) 裏地（キュプラ）

- ア 中表に折り、両面に霧を吹いてしばらくおき、裏側から布目にそって中温のアイロンをかける
- イ 布目を整える程度に低温のアイロンをかける
- ウ 手で布目を整え、アイロンはかけない
- エ 布目を整え、折りじわを消す程度に裏側から軽く中温のアイロンをかける

2. 下図はボタンホールを示したものである。(1)・(2)の名称をアからエまでのの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

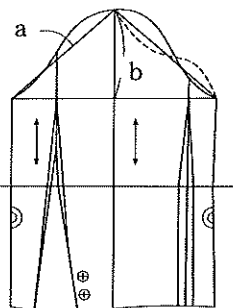


- ア 片どめボタンホール
- イ 穴どめ
- ウ はとめ穴かがり
- エ 両どめボタンホール

3. 裏地として適する条件をアからオまでのの中から二つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

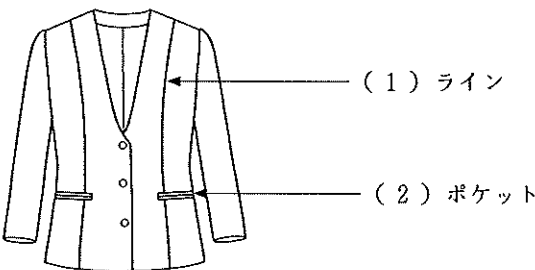
- ア 光沢がある
- イ 摩擦に強い
- ウ 重い
- エ かさばる
- オ 軽く表地とよくなじむ

4. 下図は2枚そでの作図である。(1)・(2)の問いについて、最も適するものをアからオまでのの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。



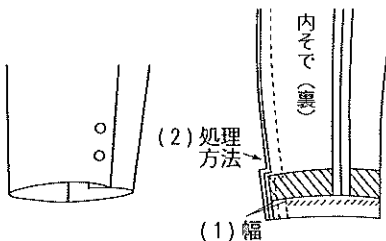
- (1) aの補助線は、何の寸法が基準となっているか。
- (2) bの部分の名称を何というか。
- ア 前AH
- イ 後ろAH
- ウ あきみせ
- エ ひじ線
- オ そで山の高さ

5. 下図の(1)・(2)に適する名称を解答欄に記入しなさい。



- 6. テーラードカラーのえりつくりでは裏えりとしんをバイアス裁ちにするが、その理由として正しいものには○を、正しくないものには×を解答欄に記入しなさい。
 - (1) 表えりより裏えりを控えるため
 - (2) バイアス地を伸ばしながらつけるとえりの折り返りがよい

7. 下図のようなジャケットのそで口作りの名称を解答欄に記入しなさい。また、(1)・(2)に最も適するものをアからオまでのの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。



- ア 内そで縫いしろに切りこみを入れる
- イ 2枚の縫いしろに切りこみを入れる
- ウ 外そで縫いしろに切りこみを入れる
- エ 1.2cm
- オ 0.5cm

8. 次の文は裏つきジャケットの見返しと裏布のはぎ合わせについて述べたものである。下線a～cが正しければ○を、誤りがあれば、最も適するものをアからカまでのの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

- ・裏布の前身ごろと後ろ身ごろの切りかえ線は、できあがり線に仕つけをして、0.2～0.3cm縫いしろ側を縫う。
- ・裏布の背中心を縫う時、バストラインより上は、しるしより $\frac{1}{b}$ cm縫いしろ側を縫い、きせをかけて裏布にゆとりをもたせる。
- ・後ろ見返しと裏布の後ろ身ごろをはぎ合わせ、見返しの縫いしろに切りこみを入れる。

- ア ヒップライン
- イ 0.1
- ウ ウエストライン
- エ 表布
- オ 裏布
- カ 0.3

9. 次の文はデザイン上の配慮について述べたものである。正しいものをアからオまでのの中から二つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

- ア 暖色は膨張して見える色が少ない
- イ 色どうしが調和しないときは、その境界線に無彩色を入れるとよい
- ウ 原色どうしの配色は調和しやすく、やさしい感じになる
- エ 細い横じまは、幅を狭く見せる
- オ 縦じまは、背を高く見せる場合が多いが、しま幅によって異なる

問題	1		2		3	4		5		6		7			8			9	
	(1)	(2)	(1)	(2)		(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)	名称	(1)	(2)	a	b	c		
1級洋服(第54回)																			
解答																			
得点																			
学校名	高校				学年		組		番号		名前					合計			

1 級（洋服）筆 記 問 題

1. 布地の表裏の見わけ方について、正しいものに○、誤っているものに×を解答欄に記入しなさい。

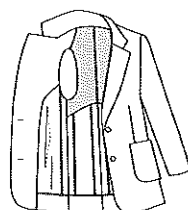
- (1) ダブル幅の布地は、二つ折りにして巻かれた外側が表である。
(2) 綾織は、右上から左下へ斜文が流れている方が表となっている場合が多い。

2. 次の文はジャケットの裏布のきせについて述べたものである。(1)から(3)に最も適する語句をアからオまでの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

裏布は表布に比べてほとんど縮まない。表布は布自体が水分（湿気、汗、雨など）によって伸縮し、（ 1 ）が変化する。特にウール地は（ 2 ）による寸法変化が大きい。そのため、裏布には必ず（ 3 ）を入れて縫製をする必要がある。

ア 空気 イ 寸法 ウ ゆとり分 エ 水分 オ 不足

3. 右図はジャケットの裏布仕様の種類である。
空欄に最も適する名称を解答欄に記入しなさい。



（ ）仕立て

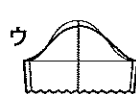
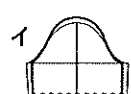
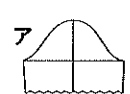
4. 下図の(1)はそでつけ位置を示したものである。この位置によるそでの名称をA群、そでの型紙をB群、身ごろの型紙をC群のAからウまでの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。



A群 ア ドロップトショルダースリーブ B群

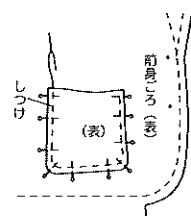
イ セットインスリーブ

ウ ハイショルダースリーブ



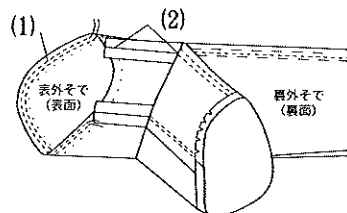
（細線は原型線）

5. 下図はジャケットのパッチポケットのつけ方を示したものである。機能的で美しいポケットつけをするにはどのような点に留意すればよいか、アからウまでの中から一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。



- ア ポケット口は身ごろにぴったり合わせる
イ ポケットの布目はわき線に合わせる
ウ ポケット口をややうかせぎみにする

6. 下図は裏つきのそでの作り方を示したものである。(1)・(2)に最も適するものをアからオまでの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。また、(3)にこのそでの名称を記入しなさい。



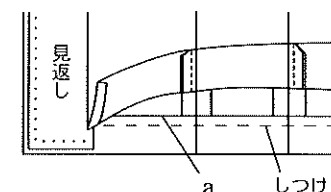
- ア 落としじつけ イ ぐし縫い ウ 中とじ
エ 7～8 cm オ 2～3 cm

7. 下図はえりなしジャケットの前見返しつけのミシン縫いを示したものである。正しい縫い方をアからウまでの中から一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

- ア 肩はでき上がり線から、すそは イ 布はしから布はし ウ 肩はでき上がり線から、
でき上がり線から2 cm縫い残す まで縫う すそは布はしまで縫う



8. 右図はジャケットのすその縫い方を示したものである。
aの部分に最も適切な縫い方の名称を解答欄に記入しなさい。



9. 次は裏つきジャケットの仕立て方について述べたものである。適するものをアからエまでの中から二つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

- ア 裏身ごろの背縫いは、ウエストラインまではでき上がり線より1 cm外側にミシンをかける
イ 表そでのそで口に接着しんをはる
ウ 二枚そでの裏そでのそで下縫いしろは、内そでに折る
エ 裏身ごろの背縫いしろは、左身ごろ側に倒す

10. 次の文は個性とデザインについて述べたものである。(1)から(3)に最も適する語句をアからカまでの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

ある人にふさわしい被服をデザインする場合、一般的にはその人の長所を生かし、短所を目立たなくして、着る人に（ 1 ）するようにと考える。しかし実際には、長所や短所そのものの判定は（ 2 ）に定められるものではなく、むしろ、観察した結果は、長所や短所としてではなく、特徴ある個性としてとらえ、その人らしく（ 3 ）することを考えたい。

ア 調和 イ 総合的 ウ 表現 エ 画一的 オ 対比 カ 外面的

問 題	1		2			3	4			5	6			7	8	9	10		
	(1)	(2)	(1)	(2)	(3)		A群	B群	C群		(1)	(2)	(3)				(1)	(2)	(3)
1 級 洋 服																			
解 答																			
得 点																			
学校名	高校			学年			組			番号		名前			合計				